

離島の振興を促進するための多度津町における産業の振興に関する計画

平成31年3月13日作成

香川県多度津町

1 計画策定の趣旨

(1) 佐柳島の概況

佐柳島は、多度津港の北西14.8kmの海上に位置し、「本浦」及び「長崎」の2つの地区から成る、南北に長い地形をした島である。

海上交通については、「多度津～佐柳航路」フェリーが多度津本土と島を結ぶ唯一の公共交通機関であるため、島民にとっては、生活する上で必要不可欠な「足」となっている。

生活環境面については、水道は海底送水のため普及率は100%となっており、ごみ処理、し尿処理については、定期的に本土へ搬送され、処理されている。

医療施設については、国民健康保険直営診療所が設置されており、看護師が週3回従事している。また、香川県立中央病院より派遣された医師が週1回の診療を行っている。

教育施設については、多度津町立佐柳小・中学校が平成7年3月に廃校となり、以後は多度津町佐柳島体験センター（社会教育施設）として利用されていたが、後にリノベーションされ、平成29年8月にゲストハウス及び喫茶店としてオープンした。

観光については、県指定有形民俗文化財である「佐柳島長崎の埋め墓」が見所となっているほか、近年の「猫ブーム」により、島内に数多く生息する猫の写真撮影等を目的に来島する観光客が増加しており、外国人観光客についても以前より多く見られるようになった。

(2) 高見島の概況

高見島は、多度津港の北西7.4kmの海上に位置し、大半が山に覆われた島である。かつては、「浦」及び「浜」、「板持」の3つの地区から成っていたが、現在、「板持」には居住者はおらず、「浦」及び「浜」の2地区が居住地域となっている。

海上交通については、「多度津～佐柳航路」フェリーが多度津本土と島を結ぶ唯一の公共交通機関となっており、重要な交通手段となっている。

生活環境面については、水道は海底送水のため普及率100%となっており、ごみ処理、し尿処理については、定期的に本土へ搬送され、処理されている。

医療施設については、国民健康保険直営診療所が設置されており、看護師が週2回従事している。また、香川県立中央病院より派遣された医師が週1回の診療

を行っている。

教育施設については、多度津町立高見小・中学校が平成22年10月に廃校となり、以後は多度津町高見島研修センター（社会教育施設）として、町内の小学校や子ども会育成連絡協議会主催行事の野外宿泊体験学習の場として活用されているほか、社会福祉協議会主催の高見島・佐柳島合同運動会の会場としても利用されており、交流の場として機能している。

観光については、島内にある石垣の集落や、県指定天然記念物となっている「高見島龍王宮社叢」を見て回る観光客や釣り客、海水浴客が来島しているほか、本島において瀬戸内国際芸術祭が2度開催されており、文化芸術分野とも連携した取り組みが行われている。

【現況】

島名	離島指定年月日	人口	世帯数	面積
佐柳島	昭和32年8月14日	72人	51世帯	1.83k㎡
高見島	昭和32年8月14日	27人	19世帯	2.36k㎡

※人口及び世帯数は「平成27年国勢調査」結果

※面積は国土地理院「平成29年全国都道府県市区町村別面積調」結果

【人口の推移】

島名	平成17年	平成22年	平成27年	H27/H22(%)
佐柳島	146人	108人	72人	66.7%
高見島	73人	43人	27人	62.8%

※各年の国勢調査結果

(3) 産業構造及び雇用動向

佐柳島における平成27年の産業別就業者人口は、第1次産業9人(12.5%)、第2次産業0人(0%)、第3次産業5人(6.9%)となっており、第1次産業の比率が高い。

一方、高見島における同年の産業別就業者人口は、第1次産業8人(29.6%)、第2次産業1人(3.7%)、第3次産業3人(11.1%)となっており、佐柳島と同様に第1次産業の比率が高い。

また、両島における第1次産業及び第2次産業については、いずれも自家消費的な性格が強い。なお、第3次産業については、平成27年国勢調査以降、佐柳島に宿泊設備を備えたゲストハウスがオープンしたため、現在では、両島において旅館業が営まれている。

【産業分類別就業者率】

島名	第1次産業	第2次産業	第3次産業	分類不能
佐柳島	12.5%	0%	6.9%	80.6%
高見島	29.6%	3.7%	11.1%	55.6%

※平成27年国勢調査結果

(4) 今後の見込み、将来ビジョン、目指している方向性等

佐柳島及び高見島においては、主要産業である漁業の担い手が減少する一方であるため、当該産業における後継者の確保や育成とともに、観光客の増加を図ることで、旅館業及び飲食サービス業への需要増大を促し、新たな雇用の創出を目指す。

2 計画の対象とする地区

離島振興法に基づく離島振興対策実施地域として指定されている多度津町の佐柳島及び高見島を対象とする。

3 計画期間

平成31年4月1日～平成36年3月31日

4 対象地区の産業の振興の基本的方針

(1) 佐柳島の産業の現状

①水産業・農業

水産業、主に刺し網漁やタコ壺漁などが中心であり、農業では、イモやマメなどの畑作を中心に行われているが、自家消費的なものである。

②観光業

平成29年8月には、廃校となった校舎を活用したゲストハウス及び喫茶店がオープンしており、以前と比較して島内での一時的な滞在や宿泊を行いやすい環境となった。

しかしながら、他に宿泊施設や飲食店がないため、一度に大勢の観光客が訪れた際には、キャパシティの都合上、対応が困難となることが予想される。

(2) 高見島の産業の現状

①水産業・農業

水産業、主にいかなご漁が営まれており、ふぐの養殖も行われているが、漁業者数の減少は続いている。

農業では、畑作を中心に花き栽培も行われているが、自家消費的なものである。

②観光業

島内には民宿が1軒あり、島を訪れる釣り客等に利用されているほか、島に伝わる郷土料理なども提供している。

また、平成25年及び平成28年の2度、瀬戸内国際芸術祭が本島にて開催されており、会期中は大勢の来島者で賑わった。平成31年にも開催が決定しており、同様に多数の人が来島する見込みとなっている。

なお、佐柳島と同様に、他に宿泊施設や飲食店がないことから、大勢の観光客への対応が困難となることが予想される。

(3) 産業振興を図る上での課題

佐柳島及び高見島では、従前から、漁業を中心とする各産業における後継者不足はもとより、島における人口減少や島民の高齢化が顕在的な課題となっている。

また、両島においては、宿泊施設や飲食店が極めて少なく、休憩場所や気軽に立ち寄れる場所があまりないことから、来島されづらい状況となっている。

佐柳島においては、近年、観光客が増加したものの、ゴミのポイ捨てや私有地への無断立入り等、観光客のマナーに関する問題が浮き彫りとなった。これには、行政が地元住民や航路事業者と協働した働きかけを行うなど、関係者間での連携が必要となる。

また、高見島においては、瀬戸内国際芸術祭の会期中は大勢の人で賑わい、来島者が大幅に増加するものの、会期中以外の時期における観光客が少ないため、継続した観光客の確保が急務となっている。

5 産業の振興を図るため促進を図ろうとする業種

漁業、旅館業、飲食サービス業

6 産業振興及び事業活性化のための取組・関係団体等との役割分担

多度津町全体においては、移住・定住人口や交流人口の増加を図り、佐柳島及び高見島の両島を含めた町全体の観光資源の有効活用に努め、SNS等を活用した情報発信を効果的に行い、町内外へのプロモーションを行う。(町・県・観光協会)

また、雇用機会の創出を図り、地元商工団体との連携のもと、企業立地やUJIターンの促進に努める。(町・県・商工会議所)

佐柳島においては、増加する観光客のマナーアップが離島振興及び観光振興という観点から非常に重要な位置を占めている。そのため、島内における民間事業者や航路事業者、地域住民と連携した啓発を行い、観光客のマナーアップを図るとともに、観光客を受け入れる体制を整える。(町・観光協会・事業者・住民)

高見島においては、瀬戸内国際芸術祭開催に伴う観光客の増加を好機と捉え、旅館

業や飲食サービス業等を中心とした第3次産業への需要増に対応できるよう体制を整えるとともに、当該芸術祭開催を契機とし、一過性のものではない継続的な交流人口・観光客の確保に繋げられるよう、島の魅力を効果的にPRする。(町・県・観光協会)

さらに、租税特別措置法の活用を促すことで、佐柳島及び高見島の両島における中心産業となっている漁業及び今後の中心産業となりうる旅館業並びに飲食サービス業の活性化を図り、必要な支援に努める。(町・県)

佐柳島及び高見島の両島においては、他の離島地域と同様に、加速する高齢化や人口減少、後継者不足といった島自体の存続に係わる課題が顕著であり、容易に解決することは極めて困難ではあるが、住民や各関係機関が連携し、生活環境に直結するインフラの維持・管理・整備や島内産業の活性化、交流人口・観光客増加に向けたプロモーション等の取組みを行い、生活しやすく魅力的、かつ、島外から訪れる人を快く受け入れる大らかな姿勢を持つような地域づくりに取り組む必要がある。(町)

7 計画の目標

業 種	佐柳島		高見島	
	新規設備投資件 (件)	新規雇用者数 (人)	新規設備投資件 (件)	新規雇用者数 (人)
漁業、旅館業、飲食サービス業	1	1	1	1